

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 連載第14回

妖怪は焙り出された！松崎明が現代提訴！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

< 週刊現代2006年10月23日発売号 >

鉄道員たちの恥ずかしい事件簿、「浦和事件」と「のぞき事件」

01年4月27日、埼玉県内の女子トイレを盗撮していた男が、埼玉県警に軽犯罪法違反（のぞき）で逮捕された。なんとこの男、女子トイレに入るため、女装までしていたのだ。男は、JR東日本浦和電車区の運転士・B（当時28歳）。当時は東労組大宮地本浦和電車区分会の役員だった。事件発覚後、Bは組合役員を辞任、JR東日本からも解雇された。「ところが会社がBを解雇したのは、1ヵ月後の5月31日。Bに夏のボーナスを渡すため、雇い続けたとか思えません。おまけに懲戒ではなく諭旨解雇でした。この“大甘処分”はもちろん、Bが東労組の役員をしていたからです」（JR東日本現役社員）・・・

驚くべきことに、浦和事件（脱退・退職強要事件）で逮捕された7人に、このハレンチ男Bも含まれているのだ。「Bは浦和電車区分会の役員として、Y君の吊し上げにも参加していました。浦和事件で逮捕された当時、Bはすでに会社を解雇されていたのですが、なんとBの逮捕後、東労組はBを組合の専従職員として雇い、毎月30万円近い給料が払われ続けている。それはBを抱き込むためです。のぞきで解雇された時、Bは『組合が守ってくれなかった』と、東労組に身勝手な不満を募らせていた。それで浦和事件の裁判でBに不利な供述をされたらかなわないと、Bを雇って困り込んだのです」（同前）

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『鉄道員たちの恥ずかしい事件簿』 」と題するこの記事は、酒気帯び運転、強制わいせつから詐欺、窃盗まで犯罪が続発している、JR東日本の実態を取り上げている。（上記）

ところで、週刊現代の徹底追及に焙り出され、ついに“妖怪（松崎明）”が、その姿を現した。松崎明自身が、講談社とジャーナリスト西岡研介氏を10月19日、名誉毀損で提訴した。これに真っ向から反論するのが、元東労組企画局長で、かつては松崎の「側近中の側近」といわれた阿部克幸氏（48歳）だ。

阿部氏が語る。「これまで『週刊現代』で書かれてきたことは、すべて事実。松崎さんが何をもって、また記事のどこの部分を『虚偽』と言っているのか、理解に苦しみます」

JR東日本は、東労組へ毅然とした対応を示せ！